

市町村等	令和4年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果・実施内容	
岡谷市	<p>【水質保全】 【生活排水対策の推進】 ①水環境に配慮した生活行動の推進 ・「下水道の日」に合わせ「広報おかや9月号」への下水道の正しい使い方や早期接続依頼について ・小学校4年生に対し授業の一環として、下水道の仕組み、役割等について「岡谷市職員出前講座」の実施 ②下水道供用区域内における下水道への接続促進 ・未接続家屋への接続依頼、各戸訪問及びチラシ配布 ・排水設備融資斡旋 【廃棄物処理による処理】 ③〔不法投棄等による水質汚濁の防止〕(随時) ・不法投棄の多発箇所に啓発看板を設置 ・市報に不法投棄防止の啓発記事を掲載 【湖沼の対策】 ④〔手作業によるヒシ除去作業、除去したヒシの堆肥化〕 ・諏訪湖漁業協同組合、環境市民会議おかやとの共催により開催。 諏訪湖の水質汚濁防止と諏訪湖に対する浄化の意識の高揚を目的に、市民・事業者・市が相互に連携を図り、ヒシの除去を行う。 ⑤〔諏訪湖岸に打ち上げられたごみの除去〕 ・諏訪湖一斉清掃 年2回 【工場・事業場排水対策】 ⑥ 排水規制 ・グリーストラップ使用状況立入検査 ⑦ 汚濁負荷量規制 ・特定事業場立入検査 【市街地対策】 ⑧〔不法投棄やごみのポイ捨て防止のための啓発〕(随時) ・③と同様 【流出水対策】 ⑨〔市街地対策〕 ・道路面の清掃 ・道路側溝・水路等の清掃 ⑩〔農地対策〕 ・環境保全型農業の継続<通年> ・有機 JAS の継続<通年> 【公共用水域の水質監視】 ⑪〔水質検査〕 ・地下水調査(10月下旬～11月上旬) ・諏訪湖及び天竜川流入河川水質調査(2月中旬) ⑫〔油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導〕(随時) ・流出事故発生時に流出元を調査し、被害拡大と今後の事故防止のための指導を行う。 ・市報やパネル等で流出事故防止の記事を掲載し、市民の意識の高揚を図る。</p>	<p>①水道課下水道担当 ②水道課下水道担当 ③環境課職員 ④市民 ⑤市民 ⑥水道課下水道担当 ⑦水道課下水道担当 ⑧環境課職員 ⑨職員 ⑩ ・環境保全型農業の継続 栃久保耕作組合 2名(うち1名はH29年度から有機 JAS 継続) ⑪環境課職員、委託業者 ⑫環境課職員</p>	<p>①接続促進のための家庭訪問、諏訪湖浄化に関する下水道の正しい使用方法などを PR することより、諏訪湖の環境改善に尽力。 ② ①と同様 ③ 不法投棄の防止のため、看板の設置、市報に啓発記事掲載による、市民の意識の向上を図る。 ④ここ数年岡谷地籍ではヒシの量が増加傾向にあるため、今年度もヒシの除去を継続し、諏訪湖の水質汚濁の防止、市民の諏訪湖浄化に対する意識の向上を目指す。 ⑤一斉清掃は毎回多くの市民に参加していただき、活動として定着し、ごみは減少傾向にある。今年度も実施し、市民の諏訪湖浄化に対する意識の向上を目指す。 ⑥ ①と同様 ⑦ ①と同様 ⑧ ③と同様。 ⑨道路路面の清掃:0m 道路側溝、水路等の清掃:市発注が 300m、各行政区が 10,000m ⑩ ・環境保全型農業の取り組みが継続し、対象面積が微増した。(R3 年度 219a、R4 年度 227a) ・畑作で有機 JAS の取り組みを継続することで、近隣農業者に環境にやさしい農業の意識付けができていく。 ⑪地下水調査:令和元年度に岡谷市が行った調査では、新たに基準を超過した箇所はなかったが、今年度も継続して、実施する。 河川調査:4河川を調査。令和元年度の調査では基準を超過している箇所はなかった。 ⑫流出事故が発生し原因者が判明した場合には、今後の事故防止のために指導を行う。また、啓発活動を行うことで、事故防止を図る。</p>	

市町村等	令和4年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果・実施内容	
岡谷市	【生態系保全】 【多様な生育・生息基盤の創出】 ①〔間伐を中心とした森林整備〕 間伐、作業道整備 時期：4月～3月 【水生動植物の管理】 ②〔アレチウリ駆除（湖周、流入河川）〕 ・ヒシ除去と同時にアレチウリを駆除 ・NPO 法人天竜川ゆめ会議主催のアレチウリ駆除に協力 ・アレチウリ駆除活動を行う団体へ補助。	①岡谷市、山栄建設、飯森林業、中央緑化 ②市民	①間伐の実施により、下層植生が生え、表土の流出が抑えられる。このことから、森林の土壌が健全に保たれ、雨水の浸透量や保水量も多くなるため、水源かん養機能が維持、増進される。 ②アレチウリの駆除には継続した活動が必要なので、今年度も協力いただける団体に、物品支給による補助を行う。	
	【湖辺面活用・まちづくり】 ◇諏訪湖サイクリングロードの整備 ・岡谷市施工区間である塚間川から釜口水門までの区間約600mの整備（R5年4月～R6年3月まで） ◇諏訪湖周自転車活用推進協議会への出席 ・サイクリングロードの計画にあたり詳細内容を協議 ◇諏訪湖の魅力発信 ①6/5 サイクルツーリズム 諏訪湖1周スイーツツアー ②7/23 サイクルツーリズム 諏訪大社四社巡りツアー ③6/1～8/31 岡谷市フォトコンテスト ④12/21-継続中 白鳥の飛来状況 ◇岡谷花火祭り 8/15 岡谷湖畔公園を会場に実施	・長野県・諏訪市・岡谷市・下諏訪町等 延べ100名程度 ①一般参加者11名 ②一般参加者11名 ③応募総数335点 ④市民	・諏訪湖周サイクリングロード担当区間の整備 ・関係機関との協議調整を長野県・諏訪市・岡谷市・下諏訪町の合同で行い、公安協議、河川法・兼用協定対応等を行う。 ①諏訪湖周をe-バイクで巡りながらスイーツ店を周るツアーを実施し、参加者にSNSで魅力を発信していただいた。 ②御柱年に併せて、e-バイクで諏訪大社四社を巡るツアーを実施し、行程の中で諏訪湖サイクリングロードについて説明を行い、参加者へ魅力の発信を行った。 ③諏訪湖や釜口水門、白鳥の応募が多数あった。応募方法がSNSでの投稿形式であるため、多くの写真をPRしていただけた。 ④12月から3月にかけて、白鳥の飛来状況をSNSで投稿する際に諏訪湖の写真も併せてPRしている。	
	【調査研究・学びの推進】 学びの推進 ◇諏訪湖に関する学習活動の推進 ・環境セミナー ・岡谷こどもエコクラブ ・岡谷市職員出前講座 ○環境教育コーディネート事業	市民 岡谷こどもエコクラブ参加者 市民 企業・団体・個人	・広く環境に関するテーマで講演会を実施 ・水生生物観察会などにより、水質の状況等を学習する ・市職員が講師となり、講座を開催 ・事業所・団体・個人が有する環境教育に活用できる事業等を把握し、市がコーディネートすることによって、環境教育の促進を図る。	
諏訪市	手作業によるヒシ除去作業（7/2）	信濃毎日新聞社、諏訪市サイクリング協会、諏訪湖釣船組合、一般ボランティア、市職員	すわっこランド前周辺 参加者100人、除去量0.76トン ※「トヨタソーシャルフェス」として実施	
	除去したヒシの堆肥化	諏訪湖浄化推進「和限」		
	環境美化活動（春5/29、秋10/16）	市内中学生、市民、各種ボランティア、諏訪市衛生自治連合会、市職員ほか	諏訪湖畔、市内各地区で実施 春 参加者422人、ごみ回収量940kg 秋 参加者295人、ごみ回収量2,971kg	

市町村等	令和4年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果・実施内容	
諏訪市	諏訪湖浮遊ごみ除去(10/16)	諏訪市セーリング協会、諏訪湖カヤック、ホテル紅や、一般ボランティア、市職員	ヨットハーバー周辺ほか 参加者 43 人、ごみ回収量 45kg ※今年度新たにカヤックを使いアクティビティ要素をプラス	
	不法投棄パトロール及び回収(通年)	業者、市職員	市内流入河川、諏訪湖畔ほか 年 75 回	
	不法投棄防止啓発(通年)	市民、市職員	啓発用のぼり旗、看板の配布・設置	
	市内河川水質検査(年 2 回)	業者	市内 5 河川(6 項目調査)及び市内 2 河川(10 項目調査)	
	油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導(通年)	市・県職員、消防署、警察署ほか	油類流出対応 R5.2 月末現在 10 件	
	アレチウリ駆除(6/18)	市職員、県職員、諏訪市衛生自治連合会、一般ボランティア	上川車橋付近土手 参加者 23 人、駆除量 160kg	
諏訪市	環境紙芝居の実施(6 月～)	市内全 13 保育園の園児、保育士、市職員	諏訪湖浄化等の環境をテーマとした紙芝居を実施 13 園実施、参加園児 552 人	
	小中学校図書館での環境図書コーナー設置(6 月)	小中学校児童・生徒、司書	環境月間の取組として実施 小学校 6 校、中学校 4 校で実施	
	環境パネル展示(年 4 回)	市庁舎来庁者、すわっチャオ来館者	市庁舎ロビー(6 月・12 月)、すわっチャオ(2 月・3 月)	
	諏訪湖かわまちづくり上諏訪地区協議会	市民、観光業・漁業・飲食業等関係者	・「諏訪湖かわまちづくり」計画に基づき、諏訪湖かわまちづくり上諏訪地区協議会を設置・開催。 ・下諏訪町境から諏訪湖ヨットハーバーまでのエリアを中心に、水辺空間の活用方法について、民間主導で検討。	
	諏訪湖周サイクリングロードの整備工事	施工業者ほか	令和 5 年度末の全線開通に向け、引き続き諏訪湖周サイクリングロードの整備工事を実施する。	
茅野市	河川水質調査 ・茅野市内河川 11 地点 10 項目 年 1 回 ゴルフ場農薬の水質調査 ・茅野市内 5 ゴルフ場、年 2 回実施	検査は業者に委託	検査結果の詳細は茅野市ホームページに掲載	取組については、これからも継続して実施していきます。
	外来植物除去 ・オオハンゴンソウ、オオキンケイギク、アレチウリ等の除去作業 実施(通年) ・駆除方法などを市ホームページ及び広報ちので周知	市民団体、ボランティア	毎年 1,500kg を目標とする。	
下諏訪町	以下< * >は下諏訪町湖浄連、< † >は長野県ボート協会の活動を支援:団体事務局 1 湖岸清掃:4 月～3 月(10 回)< * > 毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。 町による町内一斉清掃活動を5月、10 月に実施。 【5/29、10/16 の一斉清掃は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模縮	1・2・3・4 下諏訪町民、湖浄連会員等	1 諏訪湖に漂着したごみを拾うことで、環境美化及び景観の保持につながった。 【活動実績】可燃物 780kg 不燃物 230kg 計1010kg	1～6 町では、下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会(湖浄連)の活動を支援しており、今後も湖浄連を始めとする各種団体と連携して、諏訪

市町村等	令和4年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果・実施内容	
下諏訪町	<p>小】【7月、2月は悪天候のため中止、8/16の花火大会後清掃は花火大会分散のため中止、10/1の第3回諏訪湖まるまるごみ調査は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模縮小】</p> <p>2 水辺のごみ調査:4月～11月(4回)＜*＞ 湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。 【4月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、7月は悪天候のため中止】</p> <p>3 アレチウリの除去作業:4月～9月(3回)＜*＞ 湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。 【4月、5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、7月は悪天候のため中止、8/16は花火大会分散のため中止】</p> <p>4 諏訪湖浄化講演会の開催＜*＞ 令和5年1月28日(土)に開催。</p> <p>5 小学生に対する環境学習＜*＞ 小学生に対する環境学習を実施し、身近な環境について学んでもらう。 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】</p> <p>6 諏訪湖クリーン祭の開催:8月11日(木・祝)＜*＞ 各団体によるパネル展示、記念品配布、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模縮小】</p> <p>7 夏休み親子体験教室「諏訪の湖[うみ]には魚多し!」【詳細未定】 R4 中止</p> <p>8 広報誌(9月号)に接続促進記事の掲載 ・未接続家屋へのチラシ配布(通年) ・特定事業場及びその他事業場への立入水質検査 50 事業場</p> <p>9 諏訪湖岸の芝等の管理 4月～12月(年4回実施)</p> <p>10 教室名:みずべフィットネス 湖畔の健康スポーツゾーンに整備された屋外健康器具 15 基を使った健康講座 ・第1期(4月～6月)全6回 ・第2期(9月～11月)全6回</p> <p>11 フォロー講座:月いちウォーキング インターバル速歩講座、みずべフィットネスの卒業生を対象にした講座 (4月～3月 全12回)</p>	<p>5 下諏訪町内小学生</p> <p>6 下諏訪町民、 湖浄連会員、各種団体等</p> <p>7 R4 中止</p> <p>8 町</p> <p>9 町、シルバー人材センター、委託業者</p> <p>10・11 下諏訪町民</p>	<p>2 諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化活動に繋げていくための資料となった。</p> <p>3 湖岸清掃に合わせてアレチウリの除去を行うことで在来種を守り、生態系の保全につながった。</p> <p>4 諏訪湖に関する講演会を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会となった。</p> <p>5 コロナのため中止。</p> <p>6 パネル展示や記念品々配布を通して、参加者に楽しみながら諏訪湖とふれあいを持ち、諏訪湖に親しんでもらった。</p> <p>7 R4 中止</p> <p>8 新規接続者 1件</p> <p>9 湖岸通りの芝刈りについて、県との協定の見直しを図り、芝刈り実施回数を2回から4回に変更し、より良い維持管理に努めている。</p> <p>10 第1期、第2期計12回の講座により、日々の健康づくりにつながる運動方法を習得。 教室日以外でもご自身による諏訪湖畔でのウォーキングや筋力トレーニングに取り組む姿があり、健康づくりの拠点として更なる利用を促進する。</p>	<p>湖浄化の取り組みを進めます。</p> <p>7 R4 中止</p> <p>10・11 車歩分離されたコースが整備され、これまで以上に安心・安全の環境の中、健康増進事業を展開することが可能となりました。恵まれた環</p>

市町村等	令和4年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果・実施内容	
下諏訪町	12 砥川ニセアカシア除伐・土手草刈り作業(6月12日・10月2日) 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】		11 2月末までに171名の参加があり、過去の教室参加者のフォローを行っている。 以前参加された方から直近の参加者まで、健康づくりに積極的に励む方の運動支援の場であり、仲間づくりの場にもなっている。	境面を周知に盛り込みながら、より多くの方に諏訪湖畔へ出向いてもらえるよう、事業の推進を図っていききたいと考えています。
	13 諏訪湖岸の街路灯の更新及び足下灯の設置 ・街路灯(21基) 区間:みずべ公園前付近から承知川護岸橋 ・足元灯(62基) 区間:高木運動公園前付近から諏訪市境	12 計2回の活動を予定したが、団体での実施は中止 ※行政職員(町、県)のみで対応	12 計2回の活動を実施予定。	12 諏訪湖へ流入する砥川をきれいに保つことで、諏訪湖美化へつながること、また地元中学生とともに活動を行うことで、中学生への環境保全意識の醸成にもつながると考えています。
	14 諏訪湖周サイクリングロード検討会議開催(通年)	13・14・15 町	13・14 やすらげる水辺空間の創出	
	15 下諏訪ローイングパークの活用 諏訪湖活用拠点(水上防災拠点・艇庫)を活用し、災害時への備えと、16・17のボートやカヌーをはじめとする水上スポーツイベント事業等を進める			
	16 各種ボート競技等の開催 (1)5/21・22(土・日) 第45回信毎諏訪湖レガッタ・第23回全国ナックルフォア大会 (2)10/10(月) 親と子のボート教室 (3)9/4(日) 第41回下諏訪レガッタ	16(1)県内外約92クルー (2)近隣住民約15名 (3)県内外約68クルー	16 ボート大会ではスポーツ振興や青少年育成への寄与を目指す。親と子のボート教室では、参加者が諏訪湖に親しむきっかけとなるとともに、今後の観光資源化に向けたプログラム構築を検討。	
	17 東京オリンピック・パラリンピックボート競技事前合宿誘致 大会前まで			
	18 手作業によるヒシ除去(ビジョン推進会議が実施した作業への参加) <※>			
	19 手作業によるヒシ除去(下諏訪ローイングパーク) 7,8月頃<※>	17 町、長野県観光課スポーツコミッション担当	17 大会開催終了したため誘致活動も終了。事後交流として大会へのカップ贈呈等していただいた。	
	20 その他の水草の除去(下諏訪ローイングパーク) 8月頃<※>	18 協会事務局 1名 19 協会役員、地元高校ボート部員 約130名 20 協会役員、水草刈り取り業者	18・19・20 ヒシや水草の除去により、腐敗による環境悪化の防止とともに、ボート等の航行への障害を排除し、湖辺面の活用に繋げる。	
	21 赤砂崎公園において、地域の事業者が運営するキッチンカーの出店。			
	22 不法投棄パトロール及び回収(通年)			
	23 河川水質検査(年4回)及び地下水水質検査(年1回)	21 出店スタッフ	21 やすらげる水辺空間の創出	
	24 油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導(随時)	22 町 23 町、委託業者	22 諏訪湖畔及び町内流入河川を含む町内全域のパトロールとごみの回収を行い、環境美化及び景観の保持につながった。 23 町内河川9箇所(6項目)及び地下水5箇所(3項目)の検査を実施した。	

市町村等	令和4年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果・実施内容	
下諏訪町	25 町民大学 下諏訪町を取り巻く様々な課題や身近にある事柄に対し、「自らのこととして学び、考え、そして判断し行動する」ための学習意識の喚起と醸成を図ることを目的として連続講座を開講する。 26 ○ランドデザイン策定事業（諏訪湖畔地区）	24 町 25 町、受講者 26 町、ランドデザイン策定委員会	24 油類の流出事故が発生した際には原因を調査する。原因者が判明した場合には、今後の事故防止のために指導を行った。 25 「小さな隣人 諏訪の昆虫たち」 日時：令和4年6月26日（土） 午後1時30分から午後3時00分 講師：青木由親先生（自然写真家） 場所：下諏訪総合文化センター 小ホール 内容：標高が高い地勢上、諏訪には気温が低い地域に生息する昆虫を多く見ることができるという。そんな昆虫たちの魅力などを、写真を交えて解説いただいた（受講者数：31人） 26 諏訪湖周辺における賑わい創出のための将来像を町、事業者、地域住民で策定することで、住民参加のまちづくりを推進する。	26 ランドデザインを策定することにより、諏訪湖周における賑わいややすらぎを持たせることを目指しています。
富士見町	<ul style="list-style-type: none"> アレチウリ除去作業（宮川）の実施（7月） 河川水質調査 町内河川 4地点（2河川） 年2回 （5項目：2地点、8項目：1地点、1項目：1地点） 	<ul style="list-style-type: none"> 約13名 各区民等 町職員 	毎年作業を継続して実施。町内ではアレチウリは増加傾向であるが、宮川については減少傾向となっている。	
原村	<ul style="list-style-type: none"> オオハンゴンソウ除去作業（各区等の計画による） 河川水質検査 主要河川 5河川／5か所（年2回） 8検査項目を実施 河川等 8地点／8か所（年2回） 8検査項目を実施 	<ul style="list-style-type: none"> オオハンゴンソウ 各区民等 		
諏訪広域連合	諏訪湖浄化対策連絡協議会（諏訪圏6市町村で構成）の事務局運営（通年）	諏訪圏6市町村議員、6市町村職員ほか	① LCV-FMでの諏訪湖浄化啓発CM放送 ② 県関係機関との意見交換会を開催	